

終の住処…………グループホーム ころあい神戸灘・王子公園



外観:西面

近代建築文化財としての評価が高い摩耶観光ホテル（廃墟の女王）のある摩耶ケーブル駅が近く、計画当初、同ホテル同様アールデコ風のデザインも考えたが、前回2019年に建設された“ころあい神戸・長田”の評価を得て、高齢者に和む和風デザインをベースにした眼下に広がる大阪湾の景色を取り入れたルーフガーデンのあるプランを提案して実現した木造準耐火構造の福祉施設である。 ウッドショックによる木材価格高騰の真っ只中で、構造的には一部燃え代設計を取り入れて無垢の柱を表わしにしているが、基本的にメンブレン構造による真壁デザインによる空間づくりをしている。意匠的特徴の正面の木製格子は西に面した居室の日除けと道路からの視線への配慮から取り付けている。



外観:夜景

終の住処…………グループホーム ころあい神戸灘・王子公園



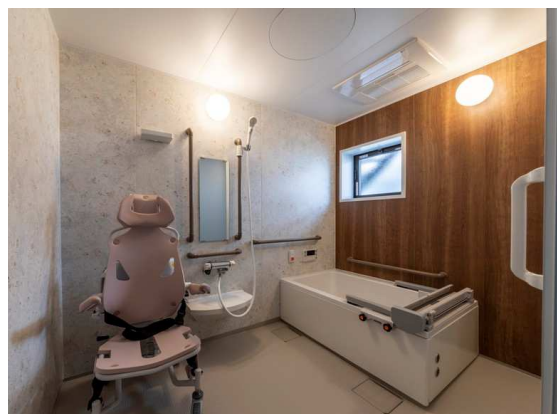
玄関



階段室



共用室



浴室



共用廊下

認知症対応型共同生活施設「ころあいシリーズ」は、基本的に立地する地域の原風景をベースにした「建築らしさ」を計画・提案・建築してきており、大阪下町の長屋、芦屋の風見鶏のある洋館、伊丹の酒造蔵のデザインはその事を具現化したプロジェクトで、前回の長田が個人的には集大成の完成形と考えてきたが、図らずも、オーナーよりこの地に新たな縁を賜り今回の提案を行なう事が出来た。



バルコニーからは大阪湾が一望できる

株式会社エーアンドシー設計

写真 (株)エスエス大阪支店